

# 施策 2-1 循環型社会の形成

## ◆ 施策のめざす姿

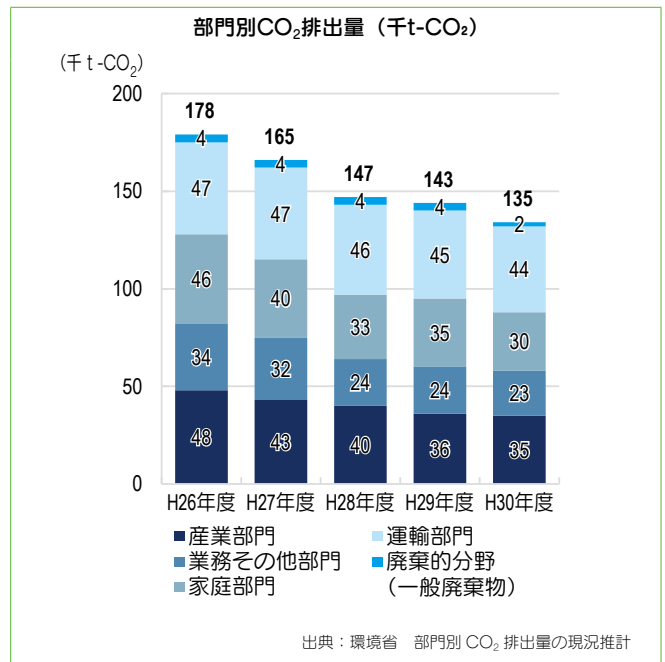
環境負荷の少ない生活を実践し、廃棄物の排出を抑制することにより、自然環境にやさしいまちになります。

## ◆ 施策の成果指標

指標名	基準値	目標値	指標の方向性
最終処分量	1,153t	1,107t	ごみの排出抑制や資源化を行政、事業者、住民が一体となっ て行い、廃棄物を適正に処理することにより最終処分量の減 量化を図ります。
愛南町の CO2 排出量 (産業、家庭含む)	135,000 tCO <sub>2</sub>	120,000 tCO <sub>2</sub>	国は、2030年度の温室効果ガスを2013年度比46%削減する 目標を掲げたことから、脱炭素化に向けた取組を加速させ、 CO <sub>2</sub> の排出を抑制します。
公共水域の水質の基準達成率	81.3%	100%	町内8河川及び2水路の検査地点16箇所において水質を検査 し、環境省の定める環境保全や人の健康の保護に関する環境 基準を目指します。

## ◆ 施策の基本方針（課題と方向性）

- 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量を抑制して  
いくことが求められています。家庭や事業所での効率的  
なエネルギーの利用を推進していくとともに、自然環  
境・生活環境に配慮した機器の導入や再生可能エネ  
ルギーの利用促進に引き続き取り組みます。
- 快適な生活環境の向上や美しい水環境の保全のため、集  
落排水や町営浄化槽の生活排水処理施設の整備を進め、  
集落排水施設の接続率の向上や、PFI手法による浄化  
槽整備によって汚水処理人口普及率の向上を図ります。
- ごみの発生量は、排出抑制や分別の徹底等により減少傾  
向にあります。4R（発生抑制、削減、再使用、再生利  
用）を進めることにより、さらなるごみの減量化に取り  
組んでいきます。不法投棄対策については、不法投棄巡  
視員・監視員等と連携し、引き続き不法投棄の解消に取り  
組んでいきます。
- 地球環境の変化に伴い、廃棄物を出さないライフスタイル  
や事業活動への転換が求められています。本町の廃棄  
物処理等については、ごみ処理・リサイクル体制の充実  
を図りながら、循環型社会の実現に取り組んでいきま  
す。



## ◆ 施策の個別計画（又は関連計画）

- 第2次愛南町環境基本計画（H30～R9）
- 第2次愛南町生活排水対策推進計画（H30～R9）
- 愛南町第2期町営浄化槽整備推進事業計画（R2～R11）
- 第2次一般廃棄物処理基本計画（H28～R7）
- 愛南町分別収集計画（R2～R6）

序論  
基本構想  
基本計画  
政策1  
政策2  
政策3  
政策4  
政策5  
まち・ひと・しごと創生総合戦略  
国土強靱化



◆ 基本事業の構成

基本事業名とめざす姿	指標名	基準値	目標値	指標の方向性
<b>1</b> <b>生活環境の保全</b> 生活環境が適正に管理され、安全で快適に暮らせます。	<b>強靱</b> 自然や住居の周囲が適正な管理がされてきていると感じている町民の割合	70.5%	75.0%	適正管理を実感する町民割合の伸び率から目標値を設定しています。
<b>2</b> <b>再生可能エネルギーの推進</b> 住民の環境意識が高揚し、エネルギーの有効活用、再生可能エネルギーの利用が増え、脱炭素が進んでいます。	<b>戦略</b> <b>強靱</b> 再生可能エネルギー設備の導入容量	39,895kW	75,000kW	経済産業省の設備認定状況や整備計画から目標値を設定しています。
<b>3</b> <b>生活排水の適正処理</b> 公共用水域の水質を保全し、衛生的な水環境を維持します。	<b>戦略</b> <b>強靱</b> 汚水処理人口普及率	47.4%	61.8%	県の生活排水処理構想の目標値を基に設置しています。
	農業・漁業集落排水処理施設への接続率	82.7%	85.1%	過去5年の伸び率から目標値を設定しています。
	合併浄化槽設置基数	2,223基	2,648基	町営浄化槽整備推進事業における目標基数等から目標値を設定しています。
<b>4</b> <b>4Rの推進</b> ごみの発生抑制 (Refuse)、削減 (Reduce)、再利用 (Reuse) 及び再生利用 (Recycle) を進めることにより、環境への負荷を軽減します。	<b>戦略</b> 町民一人当たりのごみの排出量	622g/日	597g/日	排出抑制や資源化を推進することで、ごみの減量化に取り組みます。
	リサイクル率	22.4%	27.0%	環境省の目標値27%以上の成果向上を目指します。
	分別不適合件数	58件	29件	指導啓発により、不適合件数の減少を目指します。
	不法投棄苦情件数	23件	12件	指導啓発、関係機関との連携により、苦情件数の減少を目指します。
<b>5</b> <b>ごみ処理体制の適正化</b> 災害時の対応を含め、廃棄物を安全かつ適正に処理します。	<b>強靱</b> 町民一人当たりの廃棄物処理費用	9,798円	9,406円	廃棄物の減量化に取り組み、処理費用の減少を目指します。
	災害時の廃棄物処理について知っている町民割合	取得予定	80.0%	啓発や関係機関との連携により、住民への周知に取り組みます。



家庭ごみの回収



太陽光発電

用語解説

再生可能エネルギー	石油や石炭、天然ガスといった資源に限りのある化石エネルギーとは異なり、太陽光や風力、地熱など、自然界に常に存在している枯渇しないエネルギーのことをいいます。
PFI	プライベート・ファイナンス・イニシアティブ (Private Finance Initiative) の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービス向上を図る公共事業の手法のことをいいます。
汚水処理人口普及率	集落排水施設を利用できる人口に合併処理浄化槽を利用している人口を加えた値を、総人口（住民基本台帳人口）で除して算出した汚水処理施設の普及状況の指標のことをいいます。
公共用水域	公共利用のための水域や水路で、河川、湖沼、港湾、沿岸海域、公共溝渠、かんがい用水路、その他公共の用に供される水域や水路のことをいいます。

序  
論

基本  
構  
想

基本  
計  
画

政  
策  
1

政  
策  
2

政  
策  
3

政  
策  
4

政  
策  
5

まち  
ひこ  
しごと  
創  
生  
総  
合  
戦  
略

地  
域  
土  
強  
計  
画  
画  
化

資  
料  
編

施策  
2-2

## 道路環境の充実

序  
論

基本  
構  
想

基本  
計  
画

政  
策  
1

政  
策  
2

政  
策  
3

政  
策  
4

政  
策  
5

まち・ひと・しごと  
創生総合戦略

国土強  
靱化  
計画

資  
料  
編

### ◆ 施策のめざす姿

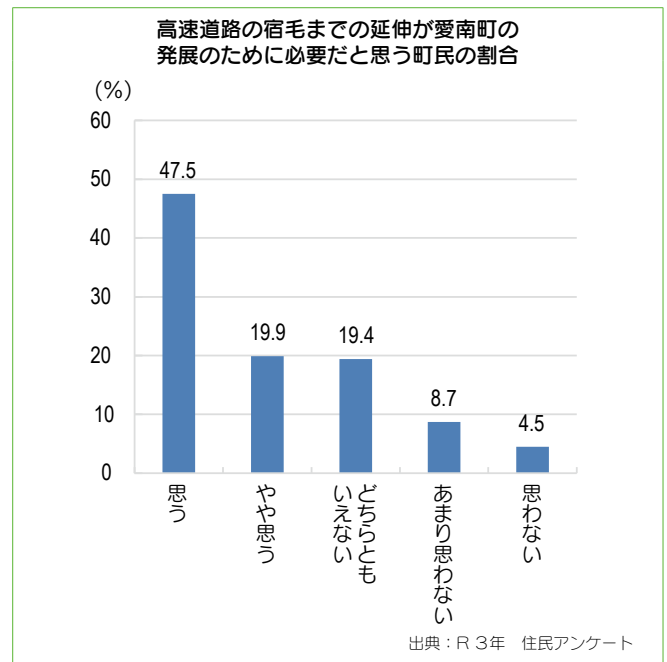
町外への移動時間が短縮され、安全で快適な通行ができます。  
町内の道路において安全で快適な通行ができます。

### ◆ 施策の成果指標

指標名	基準値	目標値	指標の方向性
愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間	130分	130分	津島道路「津島岩松IC～内海IC」10.3kmの進捗状況は、用地買収と並行して新内海トンネルの掘削に着手しています。未事業化区間である「宿毛～内海」間については、新規事業化に向け要望活動に取り組みます。
町内の道路環境の満足度	69.7%	71.0%	国道及び県道は、線形不良改善等を継続して要望します。町道については、計画的な道路改良事業及び維持管理を行い目標の達成を目指します。

### ◆ 施策の基本方針（課題と方向性）

- 本町は、「四国8の字ネットワーク」を形成する高速道路の空白地帯として長く早期整備を待ち望んでいます。津島道路「津島岩松IC～内海IC」の現況は、用地買収と並行し柏地区においては新内海トンネルの掘削に着手しています。
- 未事業化区間である四国横断自動車道「宿毛～内海」間は、新規事業化採択に必要な都市計画決定が完了したことにより、新規事業化に向けた要望を実施します。
- 本町の道路実延長は、国道29km、県道155km及び町道528kmです。一方、道路改良率は、町道52.0%と県道80.9%に比べ低い水準となっています。
- 町道等の整備と維持管理は、町民が安全で快適な通行ができるように、中長期事業計画及び愛南町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、町民からの要望を考慮し、計画的に町道等の改良や補修等を進めていきます。
- 国道及び県道は、道路幅員と線形不良の改善のため継続して要望を行っていきます。



### ◆ 施策の個別計画（又は関連計画）

愛南町橋梁長寿命化修繕計画

◆ 基本事業の構成

基本事業名とめざす姿	指標名	基準値	目標値	指標の方向性
<p><b>1</b> <b>戦略</b> <b>強靱</b></p> <p><b>愛南町への高速道路の早期延伸</b></p> <p>町外（宇和島・幡多圏域等）への移動時間が短縮され、快適で安全な通行ができます。</p>	宿毛市までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合	86.8%	90.0%	今後町民の高速道路延伸への関心が高まると考えられることから、引き続き新規事業化に向けた要望に取り組みます。
<p><b>2</b></p> <p><b>国・県道の整備促進</b></p> <p>道路環境が改善され、町外への移動時間が短縮されるとともに、快適で安全な通行ができます。</p>	国道・県道の道路満足度	70.8%	72.0%	国道及び県道の線形不良改善等を継続して要望し、目標の達成を目指します。
<p><b>3</b> <b>強靱</b></p> <p><b>町道等の整備と維持管理</b></p> <p>町民に身近な生活道路を整備及び適正な維持管理を行い、安全で快適な通行ができます。</p>	町道の道路満足度	68.6%	70.0%	計画的に維持管理を行い、満足度を向上させ目標の達成を目指します。
	町道（規格道路）の改良率	52.0%	54.0%	計画的に道路改良を行い、改良率の向上を目指します。
	改修により安全性が確保された橋梁数（基本計画期間累計）	0橋	8橋	長寿命化修繕計画に基づき計画的に改修に取り組みます。
	道路管理上の損害賠償請求件数	0件	0件	町道等のパトロール強化などを継続し、早期修繕等に取り組みます。



四国横断自動車道「宿毛～内海」間（愛南町中心部）

用語解説

高速道路

自動車安全快適に高速運転できるための自動車専用道路で、歩行者、自転車、125cc以下の普通自動二輪車及び原動機付自転車等は通行ができません。

序  
論

基本  
構想

基本  
計画

政策  
1

政策  
2

政策  
3

政策  
4

政策  
5

まち  
ひと  
しごと  
創生  
総合  
戦略

地  
域  
土  
強  
計  
劃  
画  
化

資  
料  
編

# 施策 2-3 公共交通の確保

## ◆ 施策のめざす姿

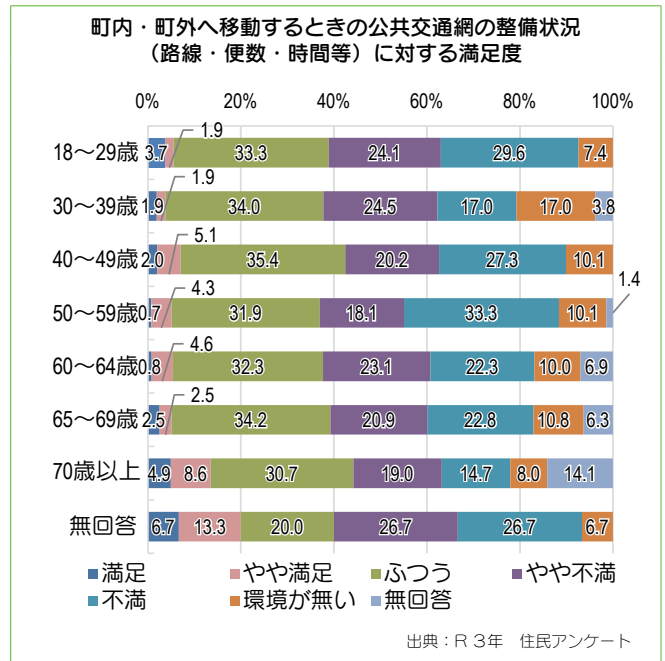
町内の移動に困る方が減少します。

## ◆ 施策の成果指標

指標名	基準値	目標値	指標の方向性
町内での移動に困らない世帯割合	取得予定	60.0%	町内での移動手段は自家用車や公共交通機関（民間運行バス、コミュニティバス、タクシー）等があり、それらを最大限活用して目標値の向上を図ります。

## ◆ 施策の基本方針（課題と方向性）

- 本町では、民間事業者のバス路線の一部廃止に伴い、平成18（2006）年度からあいなんバス（コミュニティバス）を運行し、公共交通の維持に努めてきました。令和4（2022）年度からは町内8路線を運行します。
- 人口減少等により、あいなんバスの利用者は年々減少傾向にあります。高齢者の免許返納者数は増加しており、交通安全の面からも公共交通の重要性が高まっています。
- 平成18（2006）年10月の道路運送法の改正により、地方公共団体、交通事業者、住民、関係者等が地域交通のあり方を検討する地域公共交通会議の仕組みが導入されました。また、本町では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に基づき、平成26（2014）年度に愛南町地域公共交通網形成計画を策定しました。
- 令和2（2020）年11月の地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、地域公共交通網形成計画から改称された地域公共交通計画の策定が求められており、当該計画を策定した上で、地域の実情に応じた持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいきます。



序論  
基本構想  
基本計画  
政策1  
政策2  
政策3  
政策4  
政策5  
まち・ひと・しごと創生総合戦略  
国土強靱化計画  
資料編

◆ 基本事業の構成

基本事業名とめざす姿	指標名	基準値	目標値	指標の方向性
<b>1</b> <b>町による生活交通の確保</b> 需要に合わせた効果的・効率的で持続可能な交通手段を確保します。	<b>戦略</b> 町営の交通手段の年間利用者数	36,725人	45,000人	町内バス路線の再編による町営運行バス路線増加及び利便性向上等による年間利用者数や町の事業額の増加を見込んでいます。
	町営の交通手段を運営するために必要な一世帯当たりの負担額	3,833円	7,000円	
<b>2</b> <b>公共交通機関の利用促進</b> 既存のバス路線維持のために、町民のバスの利用を促進します。	町内を運行する民間運行バスの年間利用者数	209,447人	175,000人	町内バス路線の再編による民間運行バス路線減少及び利便性向上等による年間利用者数の増加、乗車率の向上、負担額の減少を見込んでいます。
	町内を運行する民間運行バスの平均乗車率	5.21%	24.0%	
	民間運行バスの町内路線維持に必要な一世帯当たりの負担額	5,322円	2,000円	



あいなんバス



宇和島バス

## 施策 2-4 安定的な水道水の供給

### ◆ 施策のめざす姿

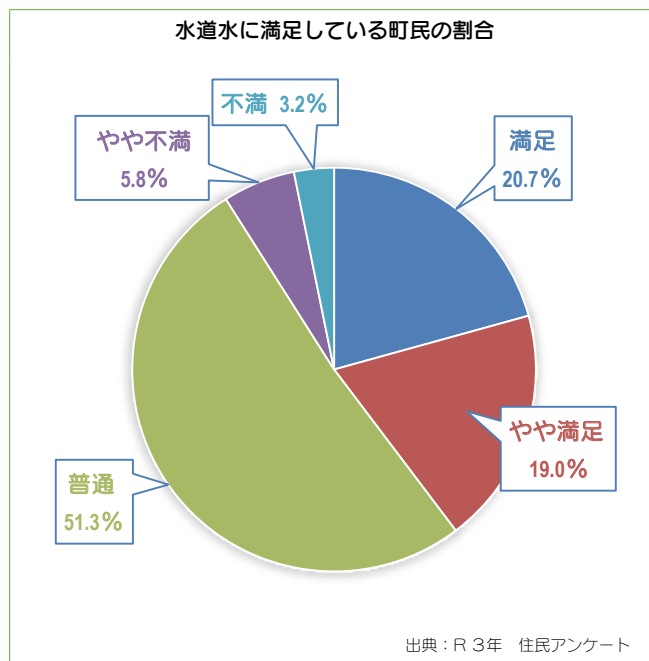
安定的に「安全・安心な水道水」を利用することができます。

### ◆ 施策の成果指標

指標名	基準値	目標値	指標の方向性
水道水に満足している町民の割合	91.0%	91.0%	現状が高い水準にあるため、現状の維持・向上を目指します。

### ◆ 施策の基本方針（課題と方向性）

- 将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を平成29（2017）年3月に策定し、中間年の令和3（2021）年度に見直しを行いました。今後もこの「経営戦略」の進捗管理を行い、定期的に見直しを図ります。
- 給水人口の減少に伴い、水道料金は年々減少している中、「料金制度の適正化」が求められ、財政状況を考慮し検討・実施していきます。
- 災害時等に安定した水道水の供給を確保するため、老朽化した施設の更新や水道管の更新・耐震化が求められ、ダウンサイジングも検討しながら計画的な更新等を進めます。



### ◆ 施策の個別計画（又は関連計画）

愛南町水道事業経営戦略



◆ 基本事業の構成

基本事業名とめざす姿	指標名	基準値	目標値	指標の方向性
<b>1</b> <b>安定的な給水の推進</b> 老朽施設（配水管等）が整備され安定的に給水できています。 有収率の向上により、施設維持管理費が低減できます。	有収率	76.0%	76.5%	老朽管の更新により有収率の向上を目指します。
	突発的な断水件数	60件	45件	過去4年間の平均断水件数を下回ることを目指します。
<b>2</b> <b>経営の安定化</b> 水道の運営基盤を強化し、適正な料金で使用できる体制を確立できています。	公営企業会計における経常収支比率（一般会計基準外繰入金を除く）	82.35%	80.00%	給水人口の減少に伴う料金制度の適正化を目指します。
	料金収納率	98.8%	98.8%	現在の収納率の維持・向上を目指します。
<b>3</b> <b>地震・災害に強い水道の整備</b> 管路の耐震化、主要浄水場への自家発電の整備により、地震・災害時の断水等の被害を最小限にとどめます。	強靱 管路の耐震化率	29.0%	31.9%	経営戦略に基づき計画的な管路の更新を目指します。
	浄水・送水施設における自家発電設備設置割合	75.0%	87.5%	地震・災害に備えた施設の整備を目指します。
<b>4</b> <b>安全な給水の推進</b> 清浄で安全な水道水を利用できます。	浄水場の施設維持管理上の不具合件数	0件	0件	施設の適正管理を行い、不具合が起きないことを目指します。
	水道水の水質検査において、基準値を上回った件数	0件	0件	常に安全で良質な水を町民に安定供給することを目指します。



城辺浄水場



大久保山ダム

用語解説

経常収支比率  
(公営企業会計)

経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すものです。この比率が高いほど経常利益率が高いことを表し、100%未満であることは収益で費用を賄えず、経常損失が生じていることを意味します。

一般会計基準外繰入金

総務省が示した消火栓設置費、維持管理費等の一般会計が負担すべき経費（基準内繰入金）を除く経費での繰入金をいいます。

序  
論

基本  
構想

基本  
計画

政策  
1

政策  
2

政策  
3

政策  
4

政策  
5

まち・ひと・しごと  
創生総合戦略

国土  
強靱  
計画  
画化

資料  
編